

■担当教員：

祐成保志（人文社会系研究科・社会学/高齢社会総合研究機構 副機構長・准教授）

■概要：

世界中の都市で、小さな空間が大きなビジネスになっている。都市では、私生活のための空間を縮小する居住形態が広まってきた。本セミナーは、この「縮小居住」（shrinking domesticities）という現象についての研究論集『The Growing Trend of Living Small』（Routledge, 2023）を刊行した、イギリスの研究者たちと共同で企画したものである。同書は、欧州と北米の事例を扱っている。東京でのセミナーでは、アジアの諸都市に視座を据えて、全地球規模ですすむ縮小居住現象について討議を行うことを目的としている。

■内容・開催日時：

2023年7月17日（月・祝）

（詳細については、別途ご案内しているメール内の添付ファイル参照）

■開催場所：

東京大学本郷キャンパス 法文1号館315教室（予定）

■参加方法：

7/17(月)の公開ワークショップに参加を希望される方は、【7/10(月)まで】に祐成保志sukenari@l.u-tokyo.ac.jpまで、氏名、所属、関心分野、参加予定時間帯をお知らせください。

終日参加された場合はGLAFS演習6ptの獲得になります。

* 参加時間数によって、ポイント数は変わります。

* 参加後に高齢社会演習のレポートを提出ください。

レポート提出フォーム：<https://forms.gle/ye52jZ4nxgbqYoXC9>